

料金別納

タウンプラス

笠岡市にお住まいの皆様へ

岡山県議会議員 坂本りょうへい 県政リポート

KAGAYAKI

VOL. 05

2月定例会から11月定例会
県政活動報告

WWW.RYOHEI-SAKAMOTO.COM



2025.8 土木委員会視察より

【お問い合わせ先】坂本りょうへい事務所

〒714-0088 岡山県笠岡市中央町34-14

TEL: 0865-61-4117 FAX: 0865-61-4430

Mail: info@ryohei-sakamoto.com

坂本りょうへい 県政リポートをお届けします

令和八年を迎え、心より新春のお慶びを申し上げます。平素より県議会議員の活動にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

令和四年四月に県政の担いを頂戴し、あつたいう間の月日に改めて原点を見つめ直しこれからの県政、ふるさと笠岡市の為に地に足をつけてしっかりと汗をかいて行く所存です。引き続きのご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

■ふるさとの為にしっかりと立つ■

戦後八十年が経過し昭和・平成・令和と時代と共に生活様式も大きく変化しました。それでも私達の想いは時代は変われど國家安寧を想い、人を重んじる国民性は変わらないと信じています。世界は未だ混沌の続く状況下であり、文明研究家である村山節氏の提唱する文明法則史学では八百年周期とも言われる東西文明が入れ替わる大転換期が来ています。

私の原点は、これまで地域活動を通して多くのご縁を頂き、また地域で汗をかく諸先輩の方の背中を見たことが始まりです。そこには当たり前に笑顔が溢れ、小さな子ども達から高齢者までが生き活きと毎日を過ごせる「ふるさと創りがしたい」という想いが満ち溢っていました。その想いや地域の声を行政へと届け、胸を張って次世代へ継承していく地域づくりをするために今も原点を忘れずに担いを続けています。

令和八年を迎えて原点を見つめ直しこれからの県政、ふるさと笠岡市の為に地に足をつけてしっかりと汗をかいて行く所存です。引き続きのご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

■原点に立ち返る■

私の原点は、これまで地域活動を通して多くのご縁を頂き、また地域で汗をかく諸先輩の方の背中を見たことが始まりです。そこには当たり前に笑顔が溢れ、小さな子ども達から高齢者までが生き活きと毎日を過ごせる「ふるさと創りがしたい」という想いが満ち溢っていました。その想いや地域の声を行政へと届け、胸を張って次世代へ継承していく地域づくりをするために今も原点を忘れずに担いを続けています。



特に我が国を取り巻く状況は、米国がトランプ政権となり日米関係の変化、中国やロシアの脅威、北朝鮮問題など世界の状況は東西不安定であり、危険な状況となっていることは言うまでもありません。

また、国内に目を向けると物価高騰や人材不足、東京一極集中による地域格差も生じております。地方においてはさらに深刻な状況を迎えつつあります。少子高齢化に拍車がかかって、耕作放棄地や担い手不足・物価高騰による倒産など地方の活力も段々と失われてきていると感じる中で、こういった状況を「仕方ない」「誰かがしてくれる」と言って諦めてしまいません。私も政治家の一人として部分観だけにとらわれず全体観という視野を持ち、柔軟な姿勢をもって政治に取り組み、張る方々を応援し、地域の皆様とともに、地に足をつけて岡山、ふるさと笠岡創りをしていく所存です。

〈プロフィール〉

- ◆昭和49年6月生
- ◆学歴：城見小学校卒 金浦中学校卒 近畿大学附属福山高等学校卒 広島経済大学 経済学部卒
- 卒業後は保険代理業を営み、消防団部長や笠岡市PTA連合会会长、笠岡青年会議所理事長、笠岡市市制施行60周年実行委員長等を歴任し現在は防災士や陸上競技の指導者など地域で活動中
- ◆議員歴：令和2年4月～令和4年12月 笠岡市議会議員
令和5年4月～岡山県議会議員
令和5年度 文教委員会／防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会
令和6年度 産業労働警察委員会 副委員長
防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会 副委員長
令和7年度 土木委員会 副委員長／決算特別委員会 副委員長
- ◆役職：日本防災士会岡山県支部 支部長／陸上競技協会 副会長 団体顧問等多数

岡山県議会議員
坂本 亮平

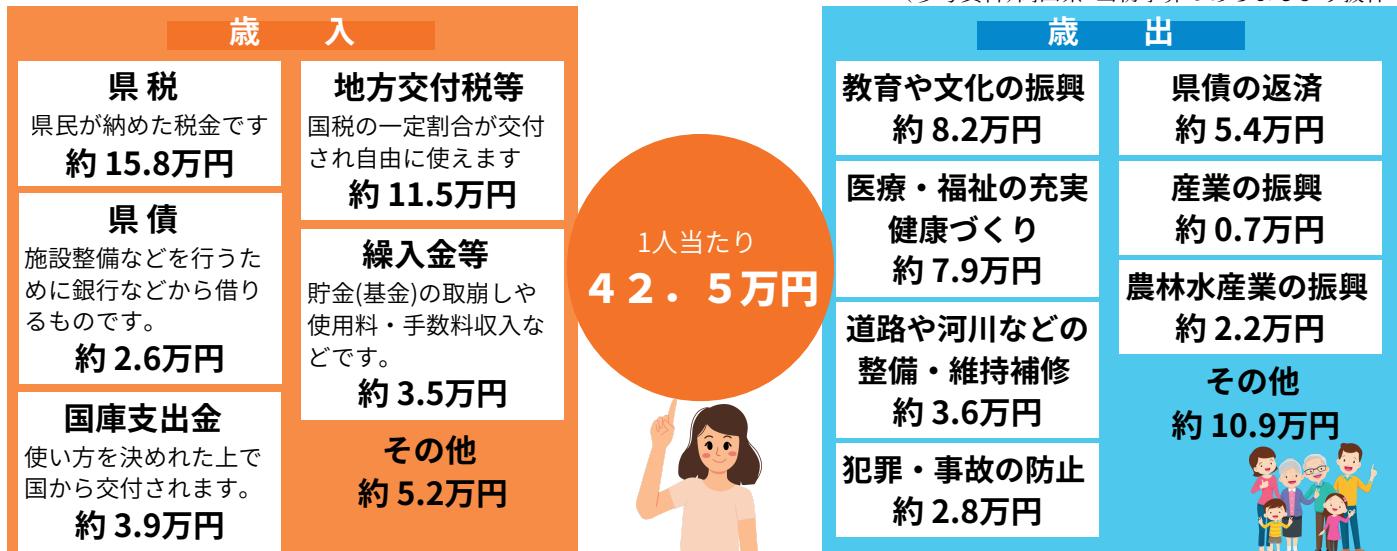
そのためにも、これまで切り拓いて頂いた先人の功績に敬意を表し、その先へと道を切り拓いて行く覚悟を持ち、今いる場所で一生懸命に伸びびをするのではなく、一步前に踏み出し新しい視点をもつて歩みを進めて参ります。

ここに、令和七年二月から十一月定期会までの活動のご報告をさせて頂きたく県政リポート**KAGAYAKI**をお届けさせていただきます。

岡山県の歳入歳出予算や方向性

県民一人当たりの歳入・歳出予算

(参考資料)岡山県 当初予算のあらましより抜粋



【参考】令和7年一般会計の当初予算総額(7,768億6,100万円)を岡山県人口(約183万人)で割ると、一人当たり約42.5万円の予算が使われているということになります。(12月末 補正後 8,207億1,100万円)



岡山県は県政において最上位に位置付けられる総合的な計画
第4次晴れの国おかやま生き活きプランを策定しています。このプランには、令和7（2025）年度からの4年間で県が取り組む重点戦略や施策を盛り込んでおり、このプランを県政推進の羅針盤として、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現を目指しています。



冊子PDFはこちら



岡山県の各部局が作成する詳細な方針や事務事業は、すべてこのプランで掲げられた4つの重点戦略や基本目標の達成を目指すものとして設定されています。



おかやま縁むすびネット
おかやま出会い・結婚サポートセンターへのアクセスはこちらから

大好きな岡山で
未来と出逢う



**★従業員の子育てを応援！
子育てしやすい職場環境助成金★**
子育てと仕事の両立支援に取り組む企業の取組みを応援します。



岡山県教育支援センター

My Place

登校が出来ていない中学生の為に学習等をしながら落ち着いて生活できる新たな居場所

**森の芸術祭 2027**

公式サイトをリニューアルしました。



2027年秋開催予定

★国による住宅・住宅設備など家庭向け補助金等支援制度★
リンク先を掲載していますので、詳細は申請等の窓口となる団体のホームページ等をご確認ください。



★国・県内市町村の民間事業者向け補助金等支援制度★
リンク先を掲載していますので、詳細は申請等の窓口となる団体のホームページ等をご確認ください。



※補助事業が募集期間の経過や予算額に達した等の理由により、終了している場合があります。

2月定例会（会期2月21日～3月19日）

補正予算詳細はこちちら
↓



岡山県：<https://www.pref.okayama.jp/>

岡山県議会 一月定例会が二月二十一日から三月十九日までの二十七日間の会期で開かれ2025年度一般会計当初予算案**7,768億6,100万円**、補正予算**94億4,304万円**など133議案を可決しました。また、新年度に向け知事から保育人材確保、産業用地の確保調査、岡山空港の機能強化、外国人材支援推進計画策定への着手、子ども食堂応援基金の創設、消防学校の寮の大規模改修や河道掘削整備の拡充などの提案説明がされました。

中小企業等の人手不足対策に向けた設備導入等の支援
6億6,125万円

住民団体が設置する防犯カメラ購入等支援
6,200万円

介護・障害福祉分野のICT導入や生産性向上へ向けた支援
4,968万円

物価高騰対策 医療機関や介護施設等への支援
16億2,082万円

避難所の生活環境改善への資機材等の整備
1億2,000万円

物価高騰対策 畜産農家飼料購入の負担軽減
16億2,873万円

主な事業予算(抜粋)



質問の足跡

土木施設への安全点検を質問

【質問】

埼玉県の陥没事故を受け、本県でも下水道管のほかに港や河川の護岸など県が管理する施設への点検を行うのか。

【土木部長】

調査を予定していた空洞が生ずる可能性が高い河川や海岸沿いの道路に加えて、大きな下水道管が通る「緊急輸送道路」も、道路の下に空洞がないか調査を行う。



県として調査の実施決定

● 一般質問（一問一答）抜粋

【質問】 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、岡山県内の調査を質問。

また、岡山県内河川における堆積物撤去と市町村の連携、小中高と繋ぐキャリアパスポートの実施状況や地域活性化に対して地域と学生の関り方等を質問しました。

【質問】 河川内の農業用施設の管理について

農業生産基盤の進んでいない地域は、樋門管理や取水口の対応を

危険を伴うことがある、農業用施設の管理について意見を問う。

【農林水産部長】

現地によつては堰板設置や河道内での作業をされる事もあるため市町村と連携し補助事業を活用しながら支援していく。

【質問】 地域活性化の学生との関りについて

笠岡市や矢掛町で大学生による地域活性事業を行つた。地域の課題解決に対する若者の力は有効だと考えるが見解を問う。



新年度も事業継続決定

若者と地域の繋がりから郷土愛が生まれ関係が構築されることで関係人口にも繋がる。大学と人的交流の協定締結となつた事もあり、今後も積極的に推進していく。

6月定例会（会期6月5日～6月25日）

補正予算詳細はこちちら↓



岡山県：<https://www.pref.okayama.jp/>



質問の足跡

スポーツ大会を活用した本県への誘客を質問

【質問】

おかやまマラソンやファジアーノ岡山などスポーツを通じた関係人口創出や誘客に向けた取組みができるのか。

【産業労働部長】

7月からの観光キャンペーンなどファジアーノ岡山の試合に合わせてサポーターの周遊促進企画を展開する。今後も環境文化部と連携して取り組んでいく。



県の誘客企画促進に繋がりました

岡山県議会 六月定例会が六月五日から六月二十五日まで二十一日間の会期で開かれ物価高騰対策を盛り込んだ**4億9,700万円**の補正予算案（補正後の一般会計補正予算は7,789億2,200万円）など8議案を可決しました。また、知事の提案説明では四月からの第四次晴れの国おかげ生き活きプランがスタートし、新たに加えた柱「少子化対策」や妊娠・出産等の体制強化、不登校対策など様々な視点からの提案説明がなされました。

私立高等学校等へ通う生徒の授業料支援対象者の拡充
6億1,520万円

公立高等学校等へ通う生徒の授業料支援対象者の拡充
7億5,681万円

医療施設等(産科医や病床数適正化)整備支援
8,453万円

地域保健医療体制推進費(分娩や小児科の入院減少への経費支援)
9,980万円

芸備線再構築に向けた実証事業経費
734万円

米国関税措置対策電気・ガス料金の負担軽減支援
4億9,702万円

主な事業予算(抜粋)

地域をテーマに、変更となる部活動地域展開や高等学校再編、笠岡諸島を含む自然公園整備や誘客地方における人口減少について質問をしました。

【質問】県立高等学校の再編整備について

高等学校再編整備計画の検討会議は非公開で行われている。
その情報公開や学校を中心としたまちづくりへの支援を問う。

【教育長】

情報公開は多様な意見を聞きながら丁寧に検討をしている、一定の情報がまとまり次第公表する。また、自治体職員にも参画していたとき地域の視点から意見を伺い連携しながら検討していく。

【質問】自然公園の管理や役割について

【環境文化部長】

島しょ部を含め自然公園の管理は規制も厳しい。管理基準の明確化や自然公園を活用した地域活性について問う。



● 一般質問（一括質問）抜粋

管理について一定の基準は設けている、申請者に対しては丁寧に説明する等、申請の負担軽減に努める。また自然公園を活用するため修景伐採や適切な施設管理・修繕等を通じて、利用者にとって魅力ある空間を創出していく。

自然公園の整備基準を確認



9月定例会（会期9月4日～10月3日）

補正予算詳細はこちら↓



岡山県：<https://www.pref.okayama.jp/>

岡山県議会 九月定例会が九月四日から十月三日まで三十日間の会期で開かれ、トランプ関税の影響を受ける事業者の支援などを含む総額**12億2,700万円**あまりの補正予算案（補正後の一般会計補正予算は7,801億4,900万円）など、13議案が可決されました。知事の提案説明では米国、関税措置の影響を受ける事業者への資金繰り支援の拡充や、物価高騰の影響を受ける地域公共交通、物流事業者への支援などに取り組んでいくと説明されました。

避難所の生活環境改善に必要な機材の整備費



3,700万円

木造住宅の耐震改修補助を行う市町村の助成事業追加



1,205万円

医療施設等(病床数適正化・診療所他)整備支援



3億8,800万円

物価高騰等により経営の厳しい経営酪農家経営支援(国交付金事業)



9,921万円

地域公共交通事業者の安定的・継続的な運行等支援(国交付金事業)



1億7,110万円

米国関税措置対策や貨物事業者等に関する支援(国交付金事業)



4億2,200万円

主な事業予算(抜粋)



質問の足跡

笠岡湾干拓地内の臭気対策について

【質問】

県としてこれまでの対策検証や策定されたロードマップへの参画、堆肥の県内循環など一步踏み込んだ対応をしていくのか。

【農林水産部長】

ロードマップに掲げる臭気対策の取組みに必要な支援を行う。また、液肥も含め堆肥の広域的な利用が進むように検討する。



対策に参画・堆肥循環を検討する

● 一般質問（一問一答） 抜粋

【警察本部長】

昨年度は感知式信号の意見・要望を四十五件受理し、その都度、現地確認を行い部品交換や感度調整など、必要な改善を図っている。今後も交通の安全と円滑の確保に努めていく。

【質問】 感知式信号機について

感知式信号交差点で停滞する車両が多くある。表示方法やセンサー感知範囲の改善、切替わり時間など県内の状況と対応を問う。

人材育成も要望



戦後八十年、知事に平和に対する想いを確認。災害における避難所基準や行政のデジタル化、デフリンピック支援や信号機設置における改善要望などを質問しました。

【質問】 行政のデジタル化について

デジタル化は業務効率向上にも役立つと考えるが併せて現場を知り柔軟に対応、判断できる職員の育成も必要があるので見解を問う。

【総務部長】

今後の人材育成に当たっては、色々な視点で常に情報をアップデートしながら、人材の育成が図られるよう取組を検討していく。

【人材育成も要望】

感知式信号の意見・要望を四十五件受理し、その都度、現地確認を行い部品交換や感度調整など、必要な改善を図っている。



11月定例会（会期11月27日～12月19日）

補正予算詳細はこちら↓



岡山県：<https://www.pref.okayama.jp/>

岡山県議会 十一月定例会が十一月二十七日から十二月十九日まで二十三日間の会期で開かれ、国の物価高騰対策などを含む**454億6千万円**の補正予算案（補正後の一般会計補正予算は8,207億1,100万円）など27議案が可決・認定されました。知事の提案説明では県外流出が加速している若者や女性について、県内への定着・還流といった社会減対策に全力を挙げると提案理由を説明されています。また、陳情のあつたサッカーの新スタジアム整備の具体的な検討についても採択しています。

物価高騰対策
介護保険施設等への食材料費の購入支援等に要する経費
3億4,100万円



家庭等へのLPガス料金高騰の負担軽減に要する経費
(国交付金事業)
7億2,500万円



介護施設等の賃上げや職場環境改善等に要する経費支援
34億1,266万円



中小企業等が行う人手不足対策に向けた設備導入等の支援に要する経費
(国交付金事業)
21億4,028万円



貸切バスを利用した県内宿泊旅行の助成に要する経費
(国交付金事業)
2,110万円



中小企業等への特別高圧電力価格高騰の負担軽減に要する経費
(国交付金事業)
2億7,007万円



主な事業予算(抜粋)

災害級と言われる養殖力キの大量死による水産業支援や広域災害時の緊急車両対応、災害時におけるレジリエンス向上に向けた蓄電設備の可能性、コンセプションケアや島しょ部等へき地医療の支援について質問をしました。

【質問】災害時における緊急車両等について
災害時における緊急車両への燃料供給体制や市町村との連携や県としての訓練体制を問う。

前向きに訓練を検討すると答弁

● 一般質問（一問一答）抜粋

【危機管理監】 岡山県としても緊急車両への優先給油などの訓練も検討し、実効性が高まるようにしていく。

【質問】へき地医療について
へき地診療所設置基準の見直しや市町との連携強化、市町への踏み込んだ支援、救急医療体制への支援などを問う。

【保健医療部長】 市町や医療関係者と連携し、へき地医療提供体制の確保を図っていく、地理的条件の制約のある離島についても県をまたぐ相互協定も含め取り組んでいく。



質問の足跡

水産業の支援について

【質問】

シーズンを迎え、人件費や来季の仕込みを含め事業者への**早急かつ一定期間の継続した対応**を問う。

【知事】

原因の究明と**当面の資金繰りに支障が生じないように**県として全力で支援していく。



対応に全力を挙げると答弁



地方から日本を元気に

土木委員会・決算特別委員会に所属。
様々な視点を大切に県政発展に関わって参ります。

詳細はQRコードから

